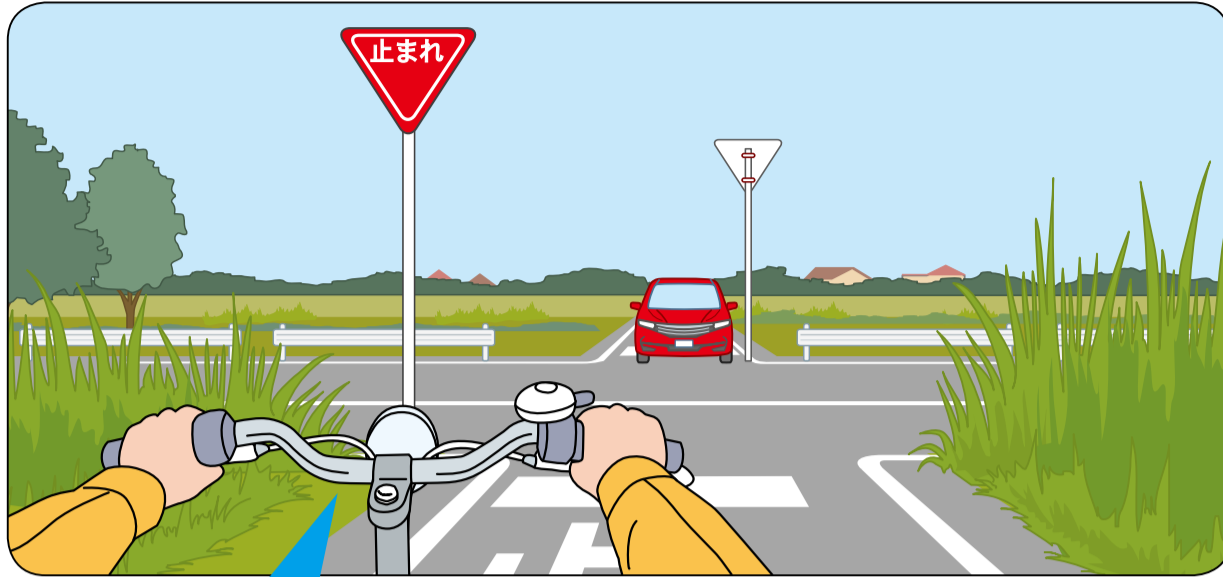


危険予測トレーニング (KYT) —— 危険感受性を育てる

第45回 郊外の見通しの悪い交差点を横断する時 (自転車編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は自転車利用者に、見通しの悪い交差点を横断する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



あなたは狭い道から広い通りを横断しようとしています。前方に見えるクルマは一時停止しているようです。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。また PDF ファイルもダウンロード (無料) できます。

[ホンダ SJ](#) [検索](#)

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部  
TEL : 03 (5412) 1736 E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業 (株)

Q1

改正道路交通法の施行に伴い、平成27年6月1日から、自転車運転中に危険なルール違反を繰り返すと、「自転車運転者講習」を受けることとなります。その対象となる年齢は次のうちどれでしょう？

- ① 14 歳以上    ② 16 歳以上  
③ 18 歳以上    ④ 20 歳以上

Q2

平成 26 年の自転車乗用中 (第1・2 当事者) の死傷者数を法令違反別にみると、最も多い違反は次のうちどれでしょう？

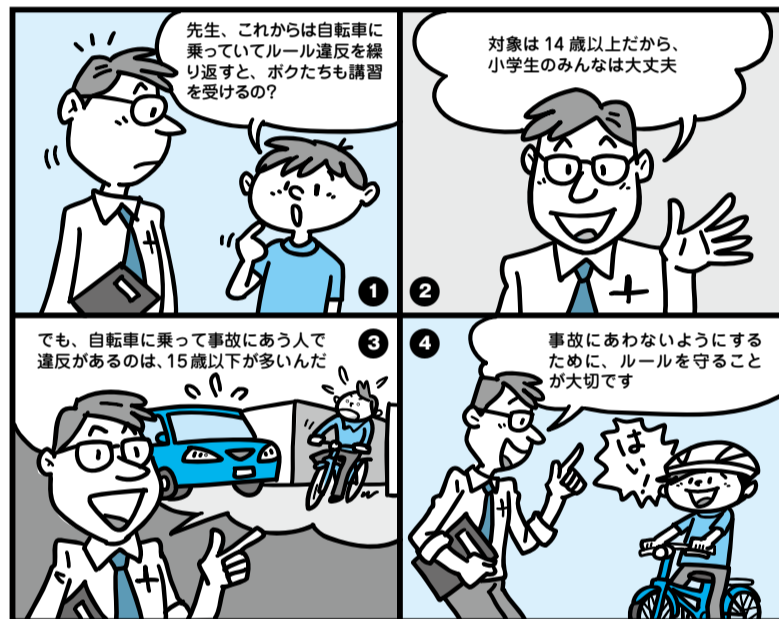
- ① 動静不注視    ② 安全不確認  
③ 一時不停止    ④ 交差点安全進行義務違反

Q3

自転車乗用中 (第1・2 当事者) の死傷者数を法令違反別・年齢層別にみると、「違反あり」の割合が最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ① 15 歳以下    ② 16 ~ 24 歳  
③ 25 ~ 64 歳    ④ 65 歳以上

※「解答」は 8 面下、「解説」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>



SJ クイズ ?

© 本田技研工業 (株)

指導者ファイル 26

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



千葉県八千代市・交通指導員の皆さん (写真左から) 川越香織さん、安達幹子さん、荻原淳子さん

子どもが考えて行動できるようにするための安全教育

八千代市は千葉県の北西部に位置する人口約 19 万人の都市である。同市安全環境部生活安全課交通安全班に所属する交通指導員・安達幹子さん、川越香織さん、荻原淳子さんの 3 名が市内の幼児、小・中学生、高齢者への交通安全教育を担っている。「特に、子どもたちには自分で考える力を身につけてもらうことを意識しています」と、安達さんはいう。

市内にある 22 の小学校では毎年 4 ~ 6 月に交通安全教室を実施している (1 年生は歩き方、4 年生または 3 年生は自転車)。実技指導の前には、基本的な交

通ルールを説明。手づくりのワークシートを使って、児童に問いかけながら進めていく。その後、児童は体育館内に設けられた模擬の道路や交差点、横断歩道を使って学んだことを実践する。

こうした歩き方や自転車の実践教育に加え、希望する小・中学校や幼稚園・保育園では 7 ~ 12 月に「映画会」を開催。交通安全に関する既製の映画を上映するだけでなく、上映前に映画の内容に関連したアドバイスをを行っている。この時に活躍するのは、交通指導員の皆さんが独自に作成したパワーポイントのスライドである。この中には危険予測につながる内容も盛り込まれている。例えば、交差点のイラスト (写真参照) を見せて、自転車に近づいてくるクルマのドライバーの気持ちを想像してもらう。そして、ドライバーは自転車に注意を払っていない場合があることを伝える。「ドライバーを信頼し過ぎず、自分の目で確認することの大切さを理解してほしいからです」と、安達さんはそのねらいを話す。「慣れた道で安心感が高まると、危険を招く行動をしがちになることにも気づいてもらいたいと考えています」。

● 八千代市立米本小学校での交通安全教室



歩き方と自転車の実技のために、小学校の体育館内に市街地の道路を再現

交通指導員の皆さんによる手づくりのワークシート (Honda の交通安全教育プログラム「あやとりいひよこ編」を参考)



交差点や駐車場の出入り口などではクルマの存在を確かめるようにアドバイス。指導には地域のボランティアの方々も協力している

● 小学校の「映画会」で使用のスライド

ドライバーは考えごとをしているなど、自転車を見ていない場合があることに気づいてもらう。小学生にわかりやすく危険予測の必要性を伝える工夫である。また、スライドの上映に必要な機材は市役所から現場に持ち込んでいる



指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>